

安井鍼灸整骨院 NEWS VOL. 139 流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）（4月）

1 流行性耳下腺炎とは

流行性耳下腺炎とは、ムンプスウイルスによる感染症で、一般には「おたふく風邪」として知られています。3～6歳の小児に多い感染症ですが、他の年齢でも感染することがあります。

2 原因と感染経路

病原体はムンプスウイルス（mumps virus）です。感染経路は、患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込むことによる感染（飛まつ感染）、ウイルスが付着した手で口や鼻に触れることによる感染（接触感染）があります。

3 症状

潜伏期間は2～3週間程度で、突然の発熱、両側、あるいは片側の耳の下のはれと痛みが起こります。2～3日以内に両側ともはれがみられ、顎の下にも広がる場合があります。通常1～2週間で軽快します。まれに無菌性髄膜炎、難聴、精巣炎などの合併症を起こすことがあります。また、感染しても症状が現れない不顕性感染が30%程度あるとされています。成人が感染すると症状が重くなる傾向があります。

4 治療

特別な治療法はなく、症状に応じた対症療法が行われます。

5 予防のポイント

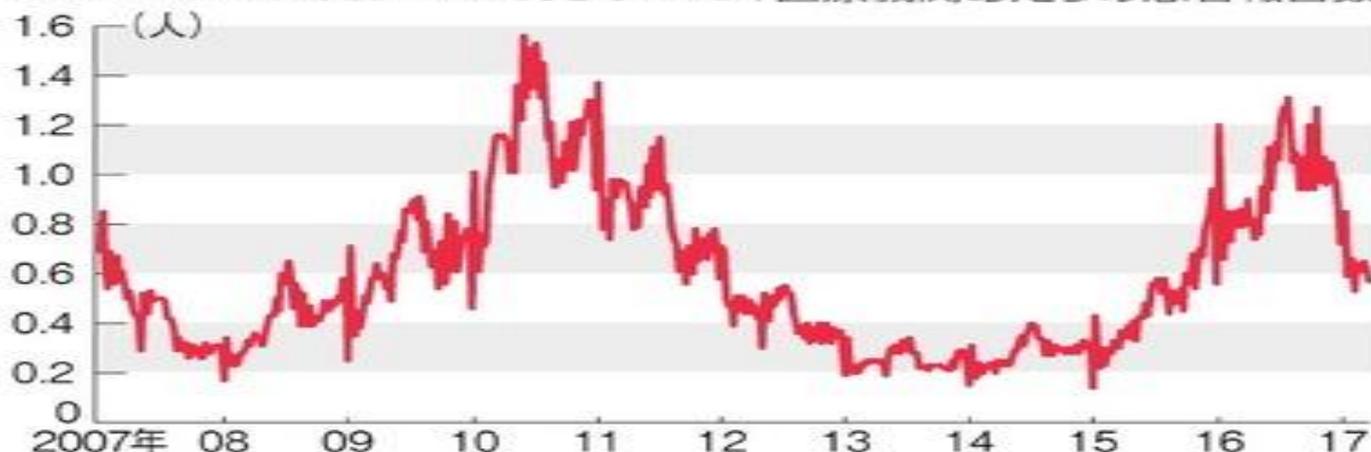
有効な予防方法は予防接種で、現在、任意予防接種として1歳以上で接種することができます。

おたふく風邪の主な症状

日本外来小児科学会のリーフレットなどから。%の数値は患者のうち各症状が出る割合で国立感染症研究所から(グラフデータも)



おたふく風邪の流行状況 1 医療機関あたりの患者報告数



おたふくかぜの治療

安静にして自然治癒を待つ

有効な薬はなく、高熱や耳下腺の痛みには**解熱鎮痛薬**を使用します。

合併所を
起こした場合は
入院すること
もあります。



腫れが痛むとき

耳下腺や顎下腺が腫れた場合は、濡れタオルで冷やすと痛みが和らぎます。

温めたほうが
気持ちよさそうなら
温湿布などを
してあげましょう。



食事は柔らかいものを与える

唾液が出ると痛むので、飲食は酸っぱい物を避け、あまりかまなくていいものを与えましょう。

消化しやすく
栄養があるものを
食べさせましょう。



感染すると1000人に1人の割合で**片耳が難聴になる**ケースもあるので1歳を過ぎたら**予防接種**を受けましょう。



発症



安井鍼灸整骨院 078-995-9461 新患の方は、来院前に予約のお電話の御協力をお願いします。

9:00~12:00 16:00~21:00(月~金) 8:30~13:00 16:00~20:00(土)

駐車場正面に2台 キッズスペースあり 夜20:30まで受付 詳しくはHPをご覧ください。

兵庫県明石市大久保町大窪1921番地の1クレージュ山手101号(カラオケまねきねこ横)